

住職の写真日記より【令和元年5月】

令和元年がスタート。あれだけ騒いでましたが、もう落ち着いたようです。5月のお寺は大きな行事が続き、終わって少し一息。気温も上がってきました。京都で2カ月ぶりに息子にも会えて、元気そうなので安心しました。近隣寺院ではまもなく報恩講が始まります。



1日 一番桜です

境内にある4本の桜の中で最初に開花。遅いのは休憩室「日和」前の桜。



3日 ちゃんと自炊してますよ

京都にいる息子から、自炊の証拠写真を送ってきてますね。簡単な料理が多いようですが。



8日 聖人の誕生日の法要

4年後の令和5年には、本山で親鸞聖人生誕850年法要が営まれるとのこと。



8日 お花見会でした

お花見会は今年も60名近くが参加、私は早々にできあがってました。差し入れもたくさん頂戴しました。



12日 仙台の弟より

母の日には、毎年送ってきます。花は弟や妹にまかせてます。離れて暮らしていると贈りたくなるんですね。



14日 6月から留学生

今年もホームステイの子がお寺に入ります。チェコのヤニス君16歳、この子も大変優秀だそうです。



22日 京都にて

友人との小旅行で京都に。純正と友人の息子さん呼び出して一緒に夕食。結構、京都に詳しくなりました。



24日 婦人会報恩講にて

おとき中に、ヤクルトさんによる健康講座を行いました。とても興味深い内容で皆さん聞き入っていました。



25日 塀周りをきれいに

塀の所にボーイスカウトの子供たちが、毎年マリーゴールドを植えてくれます。いつも、ありがとうございます。

坊守の独り言

令和最初の大型連休にお里帰りをしました。

年老いた両親と弟家族と穏やかな休日を過ごさせてもらいました。父はわざと、

とぼけた事を言っているのか、本当に認知症なのか見破ることが出来ません（笑）

それでも、孫との生活は張り合いをあたえてくれているようで、周囲に支えてもらって変わらない生活をさせてもらっています。

もう一人、気にかかる方に会いに行ってきました。

恩師でもある茶道の先生です。92歳になった現在も、週に一度デイサービスに通い、自宅で元気に生活されている先生。

小さなお豆腐屋を切り盛りしながら、茶道を人生の一部として多くの弟子達にご指導下さいました。

先生との出会いがなければ、50歳を迎えた今も茶道を続けていなかった私です。人との出逢いが人生を豊かにさせてくれるんだな〜と改めて感じた里帰りでした。

